



©松本零士/郡山市

ほしのこみ

—SPACE PARK NEWS—

65号
.....
2017
WINTER



第17回コンピュータグラフィックス展
静止画部門【大賞】館長賞「小学校の町探検」
加藤 環さん（郡山市立郡山第三中学校1年生）

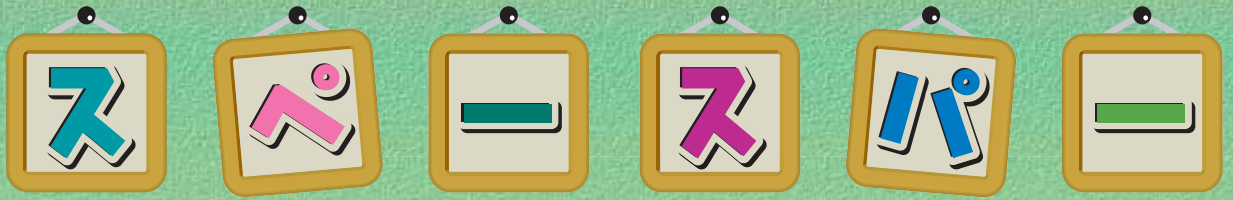
スペースパークギャラリー
第17回コンピュータグラフィックス展
平成29年「宇宙の日」記念
全国小・中学生作文絵画コンテスト

星空ガイドンス ～星空と宇宙を楽しむ～ 冬版
—見どころいっぱい— 2018年注目トピックス

天文現象カレンダー(1～3月)

スペースパークイベントレポート





第17回

コンピュータ グラフィックス展

第17回コンピュータグラフィックス展 受賞作品決定!

CGを「作る楽しさ」「見る楽しさ」に触れていただくことを目的として開催しているコンピュータグラフィックス展も、今年で17回目となりました。

「ワクワク夢見る宇宙生活」をテーマに募集しました。394点の応募作品の中から、審査員による審査を行って、受賞作品が決定しました!

※静止画部門【大賞】館長賞は表紙をご覧ください。

静止画 部門

[準賞]
スペースパーク賞



「宇宙のバカンス」
山口 聡さん
(郡山市立行健第二小学校5年生)

[準賞]
スペースパーク賞



「ささやかな食事」
杉田 安良さん
(福島県立福島高等学校2年生)

小学生以下の部



優秀賞
「宇宙人は友達」
遠藤 直喜さん
(郡山ザベリオ学園小学校5年生)



優秀賞
「天の川でつり大会」
田中 翔さん
(郡山市立芳山小学校6年生)



優秀賞
「宇宙人達の楽しい生活」
渡部 ひかりさん
(会津若松市立門田小学校5年生)

中学生の部



優秀賞
「わくわく宇宙栽培キッド」
星 空さん
(本宮市立本宮第二中学校2年生)



優秀賞
「スペースインターナショナルスクール」
酒井 紳伍さん
(郡山市立郡山第三中学校3年生)



優秀賞
「月での生活」
根本 大翔さん
(郡山市立郡山第三中学校1年生)

一般高校生以上の部



優秀賞
「まだ、誰も知らない宇宙の「形」」
岩本 拓也さん
(KCS福岡情報専門学校1年生)



優秀賞
「ふわふわおせんたく」
太田 紗楠さん
(KCS福岡情報専門学校1年生)



優秀賞
「ある日常」
渡辺 樹さん
(国際アート&デザイン大学校1年生)

動画 部門

大賞 館長賞 「りっくんのいちにち」
三瓶 奈々子さん・清野 晴香さん・後藤 紗希さん
(国際アート&デザイン大学校2年生)

準賞 スペースパーク賞 「うさぎの餅つき」都丸 恵梨香さん
(群馬県立渋川青翠高等学校3年生)
「宇宙ステーションの日常」石井 大智さん・市川 勝己さん
(国際アート&デザイン大学校2年生)

学校賞

- ▶ 会津若松市立門田小学校 (応募数15点)
- ▶ 郡山市立郡山第三中学校 (応募数22点)
- ▶ KCS福岡情報専門学校 (応募数76点)

審査員講評

〈菅野 洋人 審査員〉

応募総数が昨年よりも150点多かったということは、主催者の努力の賜物である。静止画部門では、使用ソフトの可能性を追求しようとする積極性の中、自らのアイデアをどう実現させようかという努力の跡がよく見られた。動画部門では今回は、特に応募数が多く、審査にも時間がかかった。作品を最後まで作り続けるという根気、そしてよく練られた脚本とがまず前提として大事であることが、審査の中で再確認された。

次回の作品募集は平成30年6月ごろの予定です。キミもCGに挑戦してみよう!



平成29年「宇宙の日」記念

全国小・中学生 作文絵画コンテスト

絵画の部

まもる
毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトル「エンデバー号」で初めて宇宙に飛び立った日を記念し、毎年9月12日は「宇宙の日」となっています。

郡山市ふれあい科学館でも、「宇宙の日」事務局が主催している「宇宙の日」記念全国小・中学生作文絵画コンテストに参加し、子どもたちから絵画を募集したところ、97点（小学生部門57点、中学生部門40点）の作品をご応募いただきました。たくさんのご応募、本当にありがとうございました。

小学生 部門

【最優秀賞】



十文字 仁胡さん
(郡山市立緑ヶ丘第一小学校6年生)



優秀賞 木村 太陽さん
(本宮市立本宮まゆみ小学校1年生)



優秀賞 田中 翔さん
(郡山市立芳山小学校6年生)



佳作 太田 里美さん
(郡山市立緑ヶ丘第一小学校2年生)



佳作 熊田 理乃さん
(郡山市立芳賀小学校4年生)



佳作 松谷 洸里さん
(郡山市立緑ヶ丘第一小学校6年生)

中学生 部門

【最優秀賞】



鳴戸 萌絵さん
(郡山市立郡山第五中学校3年生)



優秀賞 小林 里緒さん
(郡山市立郡山第五中学校1年生)



優秀賞 藤沼 みちるさん
(郡山市立郡山第五中学校3年生)



佳作 一條 莉乃さん
(郡山市立郡山第五中学校3年生)



佳作 神山 裕理さん
(郡山市立郡山第五中学校3年生)



佳作 嶋 綾香さん
(郡山市立郡山第五中学校2年生)

★ 星空ガイドンス

～星空と宇宙を楽しむ～

ふゆ ばん
★ 冬版 ★

「見どころいっぱい」 2018年注目トピックス

2018年は皆既月食や火星の大接近などいろいろな天文イベントがたくさんあります。事前にチェックして実際の空を楽しみましょう。

1月31日 全国で皆既月食

2018年最初の天文現象は「皆既月食」です。月食は地球の影に月が入り込むことで、月が欠けて見える現象です。月の一部が欠けるものを「部分月食」、月全体が影に入るものを「皆既月食」と言います。今回は20時30分ごろから欠け始め、22時ごろから23時ごろまで皆既食となります。皆既食の間は、月の色が赤銅色に変わります。月食ならではの不思議な色合いに注目してみましょう。

7月28日には「月入帯食」という月食で欠けた状態のまま月が沈んでいく現象もあります。こちらは日の出とほぼ同時に西に沈んでいきます。夏休みのイベントとして観察してみましょう。



7月31日 火星大接近

太陽系の中で地球の1つ外側をまわる火星は、約2年2ヶ月ごとに地球に近づきます。この接近ごとに地球と火星の距離は異なります。今回の地球と火星の距離は約5,759万kmとなり、2003年以来15年ぶりの大接近となります。このような接近時には火星の見え方も変わります。肉眼では、-2.8等ととても明るく、色も赤く見えます。望遠鏡では表面のもようも見るすることができます。最も近づくのは7月31日ですが、5月から11月までの火星の位置にも注目してみましょう。

太陽のまわりをまわる惑星は星々の間を日々移動していきます。その位置を追っていくと、6月28日ごろから戻るように動く逆行運動に変わります。それが、8月28日ごろから再び順行に戻ります。星々の間をふらふらと動いていく様子もお楽しみください。

6月～7月 はやぶさ2が 小惑星リュウグウに到達

2014年12月に飛び立った小惑星探査機「はやぶさ2」が6月～7月ごろに目的地となる小惑星「リュウグウ」に到達する予定です。リュウグウに近づくにつれてその姿が随時公開されていくので、はやぶさ2が見ているリュウグウの姿をタイムリーに追ってみましょう。到達後は約18ヶ月間、周回しながらの観測や、サンプル採取、小型探査機の投入などを行います。そして、2020年を目標に地球にサンプルを送る予定です。



©池下章裕



撮影日時：2018年6月2日 22時37分（日本時間）

国立天文台 次世代観望センター



国立天文台 天文情報センター

望遠鏡で見た火星の様子（上）火星の運動（下） ©国立天文台

8月13日 ペルセウス座流星群極大

毎年、たくさんの流れ星が現れるペルセウス座流星群。2018年は月明かりがないため、1時間に30～50個もの流れ星が見られると期待されています。観察は、放射点が高くなる13日の夜中から未明にかけてがおすすめです。ペルセウス座流星群の特徴は、明るい流星が多いことや流星痕と呼ばれる筋が残ることです。色や明るさの違いに注目してみると、より楽しめることでしょう。

また、10月8日にはりゅう座流星群極大となります。今年は、9月10日にりゅう座流星群の母天体となるジャコビニ・チンナー彗星(21P Giacobini-Zinner)が近日点を通過するため、かつてのジャコビニ流星群の再来が期待されています。



©国立天文台

10月ごろ 水星探査機 打ち上げ

日本のJAXAとヨーロッパの欧州宇宙機構(ESA)の共同プロジェクトである「ベピ・コロombo計画」の水星探査機が10月ごろに打ち上げられる予定です。この計画では、日本が担当した「水星磁気圏探査機(MMO)」とESAが担当した「水星表面探査機(MPO)」の2機が同時に打ち上げられます。

太陽に最も近い水星は太陽の影響が大きいいため、探査機の軌道投入やダメージも大きく探査が難しいとされています。そのため、これまでの水星探査機は1974-75年の「マリナー10号」と2011年の「メッセンジャー」の2機だけです。水星が受ける太陽の影響や表面の構造など、多くの謎を秘めている水星の解明が期待されています。探査機は2025年に水星に到達する予定です。



日本の「水星磁気圏探査機(MMO)」(上) ©JAXA
ESAの「水星表面探査機(MPO)」(下) ©ESA

★ 天文現象カレンダー (1月～3月) ★

1月

3日 しぶんぎ座流星群極大

三大流星群の一つです。今回は満月過ぎの月があり、悪条件です。

7日 火星と木星が大接近

明け方の南東の空に、火星と木星が近づいて並ぶ様子が見られます。

31日 皆既月食

月が地球の影に入り、赤銅色に染まります。見られる時間帯もちょうど良いので、欠けていく様子から観察してみましょう。

2月

2日 レグルス食

夜明け前の西の空でし座のレグルスが月に隠されます。

3日 節分

本来は、季節の移り変わる時をさし、立春・立夏・立秋・立冬の前日のことです。一般的には立春の前日をさし、豆まきをして厄払いを行います。

17日 水星が外合

水星-太陽-地球と一直線に並ぶ日です。この日を境に水星は夕方西の空に見えるようになります。

3月

4日 金星と木星が大接近

夕方の西の空で金星と木星が近づいて並ぶ様子が見られます。とても低いので空の開けた場所で見てみましょう。

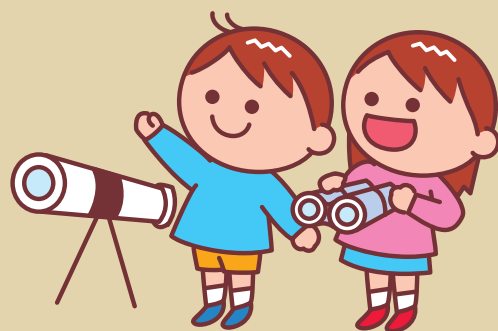
16日 水星東方最大離角

水星が太陽から離れて、日没後の西の空で見やすくなります。水星が見やすいのはこの日の前後1週間ほどです。

20日 春分の日

太陽が真東から昇り、真西に沈みます。昼と夜の時間がほぼ等しくなり、以降は昼の時間が夜よりものびていきます。

スペースパーク イベントレポート



平成29年9月24日(日)

こおりやま みらい☆シティに初参加

科学館は、公益社団法人郡山青年会議所が主催する「こおりやまみらい☆シティ」に初参加しました。このイベントは、職業体験を切り口に、子どもたちが自らの力で考え、行動し、体験する場を創出することにより、自分自身が働くことの意味や、将来について考えるきっかけを提供する事業として開催されており、科学館は、「モバイルプラネタリウム」を体験してもらうことにしました。

ドームは、直径3mあり、送風機を使って膨らませています。親子で20名ほど入ることができます。子どもたちには、最初に星座早見盤を作ってもらい、その後、ドームの中でプラネタリウムの星空を楽しみました。プラネタリウムの見慣れない星空に悪戦苦闘しながらもお父さんお母さんに聞きながら頑張っていたようです。親子あわせて120名の方にご参加いただきました。

目のように見えるところが出入口です



どんな星空が見えるかな？



平成29年10月1日(日)

平成29年「宇宙の日」記念 全国小・中学生作文絵画コンテスト表彰式

「宇宙の日」記念行事として毎年行われている全国小・中学生作文絵画コンテストに、科学館では絵画の部に参加し、97点の応募をいただきました。小学生部門・中学生部門それぞれ最優秀賞1点・優秀賞2点・佳作3点が選ばれ、その表彰式を開催しました。科学館長から受賞された皆さんに表彰状と記念品を贈呈しました。

受賞されたみなさんです



受賞作品



平成29年10月7日(土)～9日(月)

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

科学館では、鉄道が新橋から横浜に開通した10月14日の「鉄道の日」を記念し、毎年、鉄道フェスティバルを行っています。今年も、日本貨物鉄道株式会社東北支社、公益社団法人鉄道貨物協会東北支部福島県部会と共催、東日本旅客鉄道株式会社郡山駅の後援で3日間開催しました。

きかんしゃトーマスとなかまたちコーナー



操作体験コーナー



JR貨物特設コーナー



どんなスーパーボールができるかな？



熱心に聞き入るみなさん



鉄道ファンが集うNゲージ鉄道模型の操作体験、磁力で浮上し、高速で走行するミニチュアリニアモーターカーコーナー、手回し動力で動くトロッコ「てトロ」、さらにプラレールコーナーは、足の踏み場にも困る状況で、お子様が楽しそうにレールを組んで遊んでいました。

今年は、東北本線開業130周年にちなんだ写真や東北を走る様々な電車の写真を展示したコーナーがあり、昭和40年代の郡山駅の風景には、お客様は「懐かしいね」と足をとめてご覧になっていました。また、木製レールのジオラマにある車両を手で動かしながら遊べる「きかんしゃトーマスとなかまたちコーナー」は、小さなお子様に非常に好評で、いつまでもお気に入りのキャラクターを握って夢中で走らせていました。たくさんのご来場ありがとうございました。

平成29年10月15日(日)

おもしろ科学びっくり箱 「進化系スーパーボール」を作ろう！」

福島大学教授の佐藤理夫先生をお迎えし、4歳のお子さんから一般の方まで幅広い年代の皆様に参加していただきました。スーパーボールの原料となるゴム、ゴムの原料となるラテックスの話にはじまり、具体的な作り方を学びました。材料を混ぜ合わせ丸くなったものの、市販品のような球にはならないため、どこに飛んでいくかわからないスーパーボールになりました。講座の後半では、先生が用意してくださった「ワンバウンドでバケツのゴールへ入れるゲーム」や、「転がして紙コップの山を崩すゲーム」、などにも挑戦しました。講座の後半では、様々な形のビーズなどを混ぜた進化系スーパーボールを作り、参加者は先生のアドバイスに熱心に聞き入っていました。

平成29年10月28日(土)

スターレクチャー 「4K映像で楽しむ『空のふしぎ』」

「空の探検家」である武田康男先生をお迎えし、4Kの美しい映像を使って空に現れる不思議な現象についてお話いただきました。4Kの映像で楽しむということで、今回は150インチのスクリーンと4Kプロジェクターを用意しての開催となり、大型のスクリーンで見る映像は圧巻で、その美しさに引き込まれていきました。

お話は、つい1週間前に撮影されたハワイの映像や8月の皆既日食という最新のものから、オーロラや南極などの世界の景色、日の入りや夜明け時の様子や雲の形などの身近なものまで様々な写真を用意していただきました。また、動画もたくさん用意していただき、動画だからこそわかる実際のオーロラの動きや、早回しで見ることでわかる雲の複雑な動きなどから多くの発見がありました。

一言に「空」と言っても、見る場所や時間によって現れる現象が違ったり、普段の空にもいくつもの現象が現れたり消えたりしていることがわかりました。今回の講演を通して、空に目を向ける機会が増えそうです。武田先生、美しい映像と楽しいお話をありがとうございました。



スペースパーク インフォメーション案内&募集

特別行事のご案内

第33回星の講演会 驚異の視力で見る宇宙—アルマ望遠鏡—

南米チリの標高5,000mの高地で宇宙を見つめるアルマ望遠鏡。視力4000に達した目でどのような世界を見ているのでしょうか。今回は、国立天文台の平松先生から現地の映像と合わせて、アルマ望遠鏡が見る宇宙を紹介していただきます。

日時/2018年2月3日(土)16:00~17:30

場所/23階宇宙劇場

講師/平松 正顕先生 (国立天文台チリ観測所 助教)

定員/220名 (先着順・参加無料)

申込/1月6日(土) 10時より電話または科学館直接申込



プラネタリウムファミリーコンサート

—おさむ&めぐみ、ダリオ&クリスと歌って遊ぼう—

NHK「おかあさんといっしょ」7代目歌のおにいさんの坂田おさむさんと坂田めぐみさん、「えいごであそぼ」のダリオ&クリスをお迎えしてのファミリーコンサートです。たのしい歌とともに、みんなで星空を楽しみましょう!

日時/2018年2月17日(土)

1回目/11:00~12:00 2回目/13:30~14:30

場所/23階宇宙劇場 出演/坂田おさむ&坂田めぐみ、ダリオ&クリス

定員/各回220名 (全席指定)

前売券/1月6日(土) 10時より22階インフォメーションにて販売開始!

※販売は10時~17時 (休館日を除く。)



プラネタリウムイブニングアワー Live! オーロラ—アラスカからオーロラ生中継—

宇宙劇場がアラスカの空になる! オーロラ生中継プロジェクト「Live!オーロラ」の協力でアラスカとライブで結び、オーロラの様子を生中継でプラネタリウムのドームスクリーン全天に投映いたします。北緯65度の「いま」のオーロラをいっしょに体感しましょう。

※天候の都合などで、ライブ中継によるオーロラが見られない場合があります。予めご了承ください。その場合には事前に撮影されたオーロラの映像と解説をお楽しみいただけます。

日時/2018年2月~3月の毎週土曜・日曜 18:30~19:30

場所/23階宇宙劇場

定員/220名 (当日券売機で観覧券をお求めください。)



科学ゼミナール

郡山市ふれあい科学館では、各機関と連携してさまざまな実験・工作を通して科学を知る「科学ゼミナール」を開催しています。ぜひみなさんご参加ください。(申込方法などの詳細はウェブサイトなどをご覧ください。)

- ・1月21日(日)「折り紙ヒコーキ教室」
- ・1月28日(日)「橋をつくろう!」
- ・2月24日(土)「香りの魅力 - オリジナル香水を作ってみよう -」
- ・2月25日(日)「震災復興支援 家族ロボット教室」



ご利用案内

宇宙劇場番組開始時刻

	平日	土・日・祝日
第1回目	10:15	11:00
第2回目	11:30	12:30
第3回目	14:00	14:00
第4回目	15:30	15:30
第5回目	19:00 ※金曜日のみ	17:00

※冬休み期間等や催しがある時はスケジュールが変更となります。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

利用料金

	宇宙劇場	展示ゾーン	ワンヤ〜バスポート
一般	400円	400円	4,000円
高校生・大学生等	300円	300円	3,000円
小中学生	200円	200円	2,000円
65歳以上	100円	無料	4,000円
幼児	100円※	無料	—

※幼児が席を使用しない場合は無料となります。

お申込み日から一年間有効

開館時間

宇宙劇場 平日/10:00~16:15 (入館は15:30まで)
金曜日/10:00~19:45 (入館は19:00まで)
土・日・祝日/10:00~17:45 (入館は17:00まで)

展示ゾーン

10:00~17:45 (入館は17:00まで)

休館日

毎週月曜日 (祝日の場合は翌日) ※12/25日は特別開館
12/31(日)・1/1(月) ※1/1は展望ロビーも休館します
1/15(月)~19(金) ※保守点検のため、展望ロビーを含めた全館を休館します。

展望ロビー

10:00~20:00 (無料、入館は19:30まで)

有料入館者
20名様以上
20%OFF

郡山市の位置



交通機関



ACCESS MAP



スペースパーク | 検索

ウェブサイト検索もカンタン!



紙ヘリサイクル可

この印刷物は、環境にやさしいFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。



郡山市ふれあい科学館
(公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社)

スペースパーク

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11-1 ビッグアイ20~24F

TEL.024-936-0201 FAX.024-936-0089

メールアドレス info@space-park.jp ウェブサイト http://www.space-park.jp

フェイスブック ウェブサイトトップページよりリンク有り

